

平成28年度
(第4四半期)

広貫堂グループ IR情報

株式会社 広貫堂

○ 事業の概況 (業績、事業運営等の概況)

(財務面)

売上面では、前年同期比107.6%の実績となりました。これは顆粒剤工場が完成し、受託品の販売がスタートした事が主要因となります。顆粒剤工場の販売は平成29年度も引き続き増加する予定です。

収益面では、経常利益前年同期比1億9,900万円、対計画6,100万円改善致しました。これは、上述した顆粒剤工場の稼働及び販管費が低減している事が主要因となります。

(事業運営面)

大型投資を行った、顆粒剤工場が安定的に稼働するように注力致しました。製造移管作業は若干の遅れはあるものの、おおむねスケジュール通りに進んでおります。

また、富山市が運営する地域包括ケア施設での「健康」をテーマに生活価値向上を目的とした事業と連動し、「ローソン富山総曲輪店」と調剤薬局である「ファーマみらい広貫堂薬局」及び食文化からの健康提案とする「ナチュラルカフェ広貫堂」の3店舗を基軸に近隣の病院・介護施設等と連携して在宅医療・在宅介護、調剤のネットワーク化による地域の健康拠点づくりを目的とした事業を開始致しました。

○ 課題への取組み

・工場稼働率を更に向上させるため、積極的に製造受託事業の拡大を図っております。

○ トピックス、適時情報

・総曲輪レガートスクエアにて、新規3店舗がオープン致しました。

・CIC春々堂が5Fより1Fに移転致しました。

○ 業績の概況 (広貫堂・単体) (第4四半期、平成28年4月～平成29年3月)

(千円)

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
売上高	11,519,814	11,976,668	11,892,517	12,797,690
経常利益	17,848	-346,387	-970,206	-771,300

広貫堂グループ

○ 連結経営成績に関する定性的情報

顆粒剤工場が安定的に稼働し、予定されていた品目の販売がスタートしております。既存受託品目も好調で、グループとして売上高を伸ばすことに成功しております。

利益面では、顆粒剤工場の減価償却費が響き経常損失を出す状況にはなっているものの、顆粒剤工場の生産量がフル生産に近づくにつれ、経常損失は解消される見通しになっております。

○ 業績の概況 (広貫堂グループ・連結) (第4四半期、平成28年4月～平成29年3月)

(千円)

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
売上高	14,379,106	14,893,416	14,987,496	15,561,674
経常利益	242,749	-362,065	-982,832	-601,961

平成28年度
(第4四半期)

広貫堂グループ IR情報

グループ各社

薬都広貫堂 株式会社

○ 事業の概況 (業績、事業運営等の概況)

(財務面)

新製品およびリニューアル製品を6品目を導入しましたが、売上高は28億1,000万円、前年比98.3%となりました。経常利益はマイナス5,100万となり、減収減益で28年度を終えました。

(事業運営面)

次年度も引き続き厳しい事業環境が予想されますが、配置市場のニーズに応じた企画提案・販売活動を積極的に推進します。また、製品とサービスを融合させた、新配置ビジネスモデルの構築に取り組み、業績回復につなげてまいります。

○ トピックス、適時情報

平成28年度に新発売およびリニューアル発売した製品は下記のとおりです。

1. 指定第2類医薬品：1品目
2. 健康補助食品：4品目
3. 清涼飲料水：1品目

○ 業績の概況 (第4四半期、平成28年4月～平成29年3月)

(千円)

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
売上高	3,379,067	2,962,086	2,859,199	2,810,344
経常利益	175,863	-24,893	21,865	-51,299

日本薬剤 株式会社

○ 事業の概況 (事業運営、業績等の概況)

(財務面)

売上高は前年同期比99.5%の54億3,500万円となりました。

経常利益は前年同期比90.8%の3,500万円となりました。

(事業運営面)

ヘルスケア事業部では市場ニーズに応えた製品の開発を進めております。

年間を通じて順次製品を上市しております。

○ トピックス、適時情報

新発売(4～3月)

医薬品： 50mL内服液 1アイテム、葛根湯内服液 2アイテム、胃腸薬 1アイテム、
かぜ薬 2アイテム、点眼剤 1アイテム

医薬部外品： 100mLドリンク 1アイテム、50mL内服液 2アイテム

機能性表示食品： 食事の刻の緑茶 500mLペット飲料 1アイテム

食品： ゼリーパウチ飲料 1アイテム、500mL水素水 1アイテム、国産15穀米 1アイテム

○ 業績の概況 (第4四半期、平成28年4月～平成29年3月)

(千円)

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
売上高	4,880,008	4,885,416	5,464,078	5,435,830
経常利益	63,553	16,798	39,250	35,644

平成28年度
(第4四半期)

広貫堂グループ IR情報

グループ各社

広貫堂薬品販売 株式会社

○ 事業の概況 (業績、事業運営等の概況)

(財務面)

平成28年度第4四半期は、売上15億1,100万円で終了し、前年同期16億1,100万円より9,900万円の減収となりました。営業員不足が主たる要因であり、営業員の安定的な確保および顧客の拡大に努めて参ります。

利益面では、△2,400万円となり、前年同期△1億3,000万円より大きく改善致しました。

(事業運営面)

昨年度から取り組んでおります個別最適化による全体最適となる仕組みづくりを基礎として、業績回復につなげています。課題点でありました①営業員の確保については、ネット媒体も活用し営業員の安定的な確保に注力しております。②新規商品に関しては継続率の高いカテゴリーを選定し、それを補うための商品戦略で新規投入を行いました。

○ トピックス、適時情報

・新規商品として「パラブラセンタゼリー」、「グルコサミンゼリー」といった嚥下障害も考慮した商品及び長年ご愛飲いただいた「サンリキZ3000Ⅱ」にかわり「サンリキソZ5000」を新規投入し、拡売につなげています。また、コラボ企画による新規顧客獲得は通年で約600軒に達し一定の成果につながりました。

○ 業績の概況 (第4四半期、平成28年4月～平成29年3月)

(千円)

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
売上高	1,958,243	1,721,701	1,611,346	1,511,887
経常利益	-96,739	-183,063	-130,037	-24,862

トキワ広貫堂 株式会社

○ 事業の概況 (業績、事業運営等の概況)

(財務面)

販売面においては、前年同期比94.9%予算計画比93.9%となりました。経費面につきましては、前年同期比102.1%と増加致しました。経常利益は、△464万に対して△1,475万となりました。

(事業運営面)

1月、2月痛み系の商品「グルコサミンゼリー」の販売を強化し、3月からリニューアルドリンクであるサンリキソZ5000の配下を行いました。

○ トピックス、適時情報

- 平成29年1月20日にトキワ廣貫堂第5回取締役会が開催されました。
- 平成29年3月24日にトキワ廣貫堂第6回取締役会が開催されました。

○ 業績の概況 (第4四半期、平成28年4月～平成29年3月)

(千円)

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
売上高	212,905	211,764	217,622	206,584
経常利益	-28,877	-28,991	-4,643	-14,753